

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		令和3年7月20日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 広島県福山市曙町1-13-15		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 エフピコ 代表取締役社長 佐藤 守正
環境マネジメントシステムの名称	エフピコエコアクション50（FPEA-50）	
適用範囲	エフピコ及びエフピコグループ	
導入年月日	2006/4/1	
認証番号	自社独自マネジメント。第三者認証の取得はなし	
基本方針	【環境方針】 エフピコHP参照 http://www.fpco.jp/csr/environmenteffort.html	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	【エフピコグループの長期目標】 エフピコHP参照 https://www.fpco.jp/esg/environmenteffort/ecoaction50.html	
目標を達成するための取組の内容	【各部門2020年度までの目標】 ・物流時のCO2削減（2018年度比6.4%の増加に抑える） ・オフィスの環境負荷の見える化及び削減 ・容器及びPETボトルの回収・リサイクルの推進 ・低炭素型製品であるエコトレー、エコAPETの販売拡大 【2021年度からの目標】 ・次期環境経営活動「エフピコ・エコアクション2.0」を策定中 ・エフピコリサイクルでカーボンオフセット宣言を公開	
目標を達成するための取組の進捗状況	長期目標について ・2003年度比 総排出量約40%増加（2020年度実績） ・2003年度比 排出原単位 約8%減少（2020年度実績） ※総排出量については生産工場の増設及び製品出荷の増大、電力会社のCO2排出係数が目標設定当初より悪化した等の影響が出ている	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	【エフピコリサイクルでカーボンオフセット宣言】 2020年度から ○2023年3月期 事業活動全体のCO2排出量目標 22.6万tに抑える ○2025年3月期 事業活動全体のCO2排出量目標 23.7万tに抑える ○エコ製品販売によるCO2削減効果目標2035年 23.7万tに引上げる 2035年次、事業活動におけるCO2排出総量を23.7万t内に抑えるとともに、エコ製品の販売による社会的なCO2削減効果を、23.7万tに引上げバランスさせる。2020年度 削減効果は17万tに増加	
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動における法律遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「遵守評価表」を用いて各工場にてチェック及び評価を実施。 各事業所（近畿亀岡工場も同様）とも法令遵守を確認している。特に問題はなし。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムについては問題なく対応できている。 企業合併による新規のグループ会社に対するマネジメントシステム導入についても随時実施している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。